

地元企業就職 選択肢に 西条農高で43社合同説明会



生徒に自社の業務内容や魅力を伝える企業担当者(右)

＝14日午後、西条市福武

防げ、若者の地元離れ。西条市内に事業所がある企業など43社が参加する就職ガイダンスが14日、西条農業高校(同市福武)であった。在学中から地元での働き方に興味を持って

もらおうと、各社の担当者が業務を紹介し、生徒が耳

を傾けた。

人手不足にあえぐ企業側は若者への情報発信の機会となり、生徒側は在学中からの職業観の形成につながるなど、双方にメリットがあるとして、西条産業情報支援センター(サイクス)と同校進路課が共同で企画。進学希望者を含めた1、2年生計158人が参加した。

不織布を製造するMCT西条(西条市)のブースでは、担当者が「綿棒や化粧用コットンなどの素材を提

供し、人々の生活を支えている」とやりがいアピール。製材会社サイプレス・スナダヤ(同)の担当者は、休日に関する生徒の質問に「県外に工場がなく地元で働ける。週休のほか、年末年始や西条まつりの日など、しっかりと休日がある」と応じた。

地元就職を希望している2年の伊藤漣也さん(17)は「これまで知らなかった会社の仕事内容も学べて、選択肢が増えた」と話した。

(森岡岳夢)